

表紙のみ抜粋

学校の働き方改革に ご理解・ご協力をお願いします



先生という職業は昔から忙しいのでは？
なぜ今、多忙化が問題になっているの？

働き方改革で子どもたちの教育
の質が落ちるのでは？

いじめや不登校等の教育課題の多様化、子どもの
貧困対策など、先生に対する期待の高まりを受け
て、その負担は増加しています。

先生の長時間勤務や心身の不調は、教育の質を低
下させてしまいかねない深刻な実態にあります。

学校の働き方改革の目的は、子どもたちに対する
より質の高い教育環境をつくることにあります。

現状では、休日の地域行事での生徒の引率、関係
団体の事務局機能、部活動指導など、先生が様々な
ことに時間を取られています。働き方改革を進める
ことで、先生が授業やその準備など、先生にしかで
きない教育活動に集中できるようになり、学校教育
の改善・充実につながるものと考えています。



**先生の現状って
そんなに大変なの？**

子どもたちのためなら時間を惜しまない
のが先生のあるべき姿では？

長時間働いた分、それに見合った
給料をもらっているのでは？

「子どものためであればどんな長時間勤務も良
しとする」という働き方は、その中で先生が疲弊
していくのであれば、むしろ「子どもたちのため」
にはなりません。

先生が日々の生活の質や教職生活を豊かにして
いき、自らの人間性や創造性を高めることにより、
子どもたちに対して効果的な教育活動を行うこと
ができると考えています。

先生は、その職務・勤務態様の特殊性から、給
料額の4%が一律に支給されており、長時間の時
間外勤務を行った場合でも、その時間に対応した
超過勤務手当は支給されていません。

